

広報

2019 **11**  
No.761

# おーいしだ

## 大石田町



町長選挙・町議会議員選挙の結果

P2～3

除雪作業にご協力を

P8～9

11月は年金月間です

P12～13

■表紙写真

大石田町芸術祭「歌と踊りの合同公演」  
(11月4日)

町芸術文化協会に加盟する団体やゲスト  
出演の団体等による歌と踊りの華やかな公  
演が行われました。

# 新町長に村岡藤弥氏

むらおかふじや



↑初登庁の際、職員から花束を受け取る村岡藤弥町長

任期満了に伴う大石田町長選挙は、10月29日(火)に告示されました。立候補の受付は午後5時で締め切れ、新人の村岡藤弥氏以外に立候補の届出はなく、無投票での当選が決まりました。

## 町民目線で町政運営をします

町の人口は7千人を切り、高齢化率も40%になろうとしています。

大型プロジェクトが終了し、財政状況も大変厳しいこの時期に就任したことに重責を感じるとともに、大石田の良い点をさらに伸ばす施策を打ち出しながら「住んでいて良かったといえる町づくり」を目指して、町政執行にあたっていきたいと思います。



↑職員に向けて訓示を行う村岡藤弥町長

## 出来ない理由探しはしない

職員には、前例踏襲的な意識を改め、少しでも前進するにはどうするかということに念頭に置いて職務を遂行して頂きます。

町民が望むことに対し出来ない理由探しはせず、要望の実現へ向けた取り組みを実行するよう指示しながら進めていきます。

## 町のポテンシャルは高い

厳しい状況の中ではありますが、交流人口や関係人口の多さは誇るべきものがあります。加えて「山寺が支えた紅花文化」の日本遺産登録など明るい話題もあり、町の魅力はさらなる域に突入していくところであります。

しかし、賑わいを町民が感じ、恩恵を享受するまでには至っていないのが現状であり、そこを打破するためにも町民の皆さん、職員と共に協働の町づくりを推進します。

令和元年10月29日告示・11月3日執行 大石田町議会議員選挙

## 町民の声を町政に

# 大石田町の新しい議員を紹介します



こだま いさむ  
小玉 勇 (来迎寺)  
68歳 5回



こんの まさのぶ  
今野 雅信 (桂木町)  
45歳 初



えんどう こうじ  
遠藤 宏司 (下宿)  
71歳 6回



むらかた しゅういち  
村形 昌一 (佐田町)  
49歳 4回



おおやま じろう  
大山 二郎 (二丁目)  
64歳 6回



はが きよし  
芳賀 清 (豊田)  
70歳 7回



さいとう こういち  
齋藤 公一 (豊田)  
80歳 6回



おかざき ひでかず  
岡崎 英和 (東町)  
54歳 2回



にとうべ どうま  
二藤部 冬馬 (愛宕町)  
37歳 初



くまがい とみたらう  
熊谷 富太郎 (本町)  
78歳 初

任期満了にもなつ大石田町議会議員選挙が、10月29日(火)に告示され、現職7名と新人3名の10名が立候補し、無投票により全員が当選となりました。

11月5日(火)には、役場応接室で当選証書が付与されました。(紹介順は右から左に向かつて届出順、年齢の右は当選回数、初は初当選)

8年間にわたり町政発展に尽力された庄司喜與太前町長が11月12日をもって、横山利一前副町長が11月11日をもって退任されました。

## “こころ通う あたたかい町政” 実現に尽力

木々が赤く色づき、大石田も秋から冬へと季節が移り変わる時期になりました。

このたび、11月12日をもって、町長としての任期が満了となり退任の運びとなりました。

平成23年11月に町長就任以来、「こころ通うあたたかい町政」の実現を目指し、2期8年間町政運営を預かってまいりました。

この間、町民交流センター「虹のプラザ」の建設など様々な事業を着実に進めることができましたことは、町民の皆様の多大なるご指導とご協力を頂いたからこそであり、衷心より厚くお礼申し上げます。

近年、「想定外」の自然災害が毎年のように発生するなど、町民の生命を守るための備えが重要な課題となっている中での退任ではありますが、少子化対策などの重要な課題とあわせ、新町長には解決に向けた施策を進めていただければと考えております。

これまで、私を支えていただきました町民の皆様へ感謝申し上げますとともに、大石田町の更なる発展と町民の皆様のご多幸をご祈念申し上げ退任の挨拶といたします。



庄司喜與太 前町長

## 町長の補佐役として町政発展に尽力



横山利一 前副町長

冬の足音が日に日に近づいてまいりましたが、町民の皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、11月11日をもって副町長の職を退任させていただきました。

昭和46年に町職員として奉職以来、平成23年6月からは副町長として、合わせて48年6か月の永きにわたり勤めることができました。これも町民の皆様のご温かいご指導とご協力を頂くことができたからこそであり、これまでのご厚情に心より感謝申し上げます。

副町長就任時は、東日本大震災発災直後であり、難しい課題が山積している中ではありましたが、町長を補佐し、職員とともに全力で課題に取り組むことができましたので、充実した8年間であったと感じております。

最後に、大石田町のさらなる発展と町民の皆様のご多幸をご祈念申し上げ御礼の挨拶とさせていただきます。

## 突然訪れる災害に備えて

# 大石田町防災訓練



大石田町防災訓練が10月20日（日）に横山地区総合センターを会場に行われ、上ノ原地区自主防災会などの地区住民や消防団第1分団を中心とした町の消防団員ら約200名が参加しました。

訓練は町内で震度6強の地震が発生したとの想定で行われ、住民らの避難訓練や消防隊員による一斉放水、炊き出し訓練、救命講習などが行われました。

参加者らは被害を最小限に食い止めるための実践的な技術の向上を図りながら、災害に対する意識の高揚に努めていました。

### 防災マップの再確認を！

町では「大石田町防災マップ」を全戸に配布しています。災害はどこで発生するか予測できません。

日ごろから地域や家庭で、地域の危険箇所や避難場所を確認しておくことが早めの避難につながります。この機会に防災マップを再確認し、家庭での備えを万全にしましょう。



1/消防団による一斉放水訓練 2/応急手当訓練では地区住民が消防団員の指導を受けながら、AEDの使い方などを学びました。 3/東北カーボン(株)協力による段ボールベッドの設営 4/アルファ米を使用したおにぎりの炊き出し訓練 5/上ノ原地区自主防災会による火災防衛訓練

### 社会福祉協議会 防災講座

## 「山形県の活断層と地震活動～山形盆地北部地域について」

大石田町を縦断する山形盆地北部断層帯など、山形県内には多数の活断層の存在が知られています。それらの断層が活動した場合に町にはどのような影響が及ぶのか、専門家を招いて活断層の成り立ちからわかりやすく解説します。

- ◆日時 11月28日(木) 午後7時～
- ◆場所 虹のプラザ2階 中会議室
- ◆講師 山形大学理学部准教授 本山 功氏  
※申込・問い合わせは下記まで

■大石田町社会福祉協議会(虹のプラザ内)  
Tel.35-3383



会場の外では「大石田うどん  
まいもの展」が開催されました。  
漬け物や自然薯、つや姫の新米  
の試食コーナーなど町のおい  
しい特産品のほか、北村山地域  
の産直施設のブースが並びま  
した。

## うどんまいもの展 も盛況



香り高い新そばを味わう

## 第23回 新そばまつり

大石田新そばまつりが10月26日・27日の2日間にわたりクロスカルチャープラザ桂桜会館の多目的コートで開催されました。

実り豊かな秋を迎え、「ひきたて」「こちたて」「ゆでたて」の3たてに「たれたて」が加わる、そば好きにはたまらない新そばの季節。今年も香り高い新そばを求めて訪れた多くの方で、大賑わいのイベントとなりました。

**極上の新そばを提供**

今年で23回目となる大石田町新そばまつりは前売チケットが前日までに完売し、2日間の来場者は2千人を超えて約5千食のそばが提供されました。まつりで提供されたそばは、130年以上大石田町で守り継がれてきた固有品種「来迎寺在来」。香り高い打ちたてのそばを提供するため、大石田そば街道振興会や大石田そば道楽会の会員など約30人が早朝からそば打ちを始め、打ちたて、ゆでたての極上の新そばを提供したほか、会場の実演コーナーでもそば打ちの腕前を披露し、訪れた方は足を止めて見入っていました。

まつりには宮城県など遠方からもたくさんのお客さんが訪れ新そばを味わいました。中には何度もそばのおかわりをする方もいて、今しか味わえない旬の味を存分に楽しんでいました。

### ふるさと納税寄付者対象 大石田まるごと味わうバスツアー開催



新そばまつりに合わせて、大石田町にふるさと納税をされた仙台市在住者を対象にしたバスツアーが26日(土)に開催されました。

ふるさと納税で寄付を行った方に実際に町を訪れてもらい、リピーターを増やそうという取り組みで、参加者約70人が歴史民俗資料館や新そばまつり会場、あつたまりランド深堀などをバスで巡り、新そばや温泉など大石田町の秋を満喫しました。

### 大石田町のそばのキャラクター 新そばまつり会場でネーミングを募集



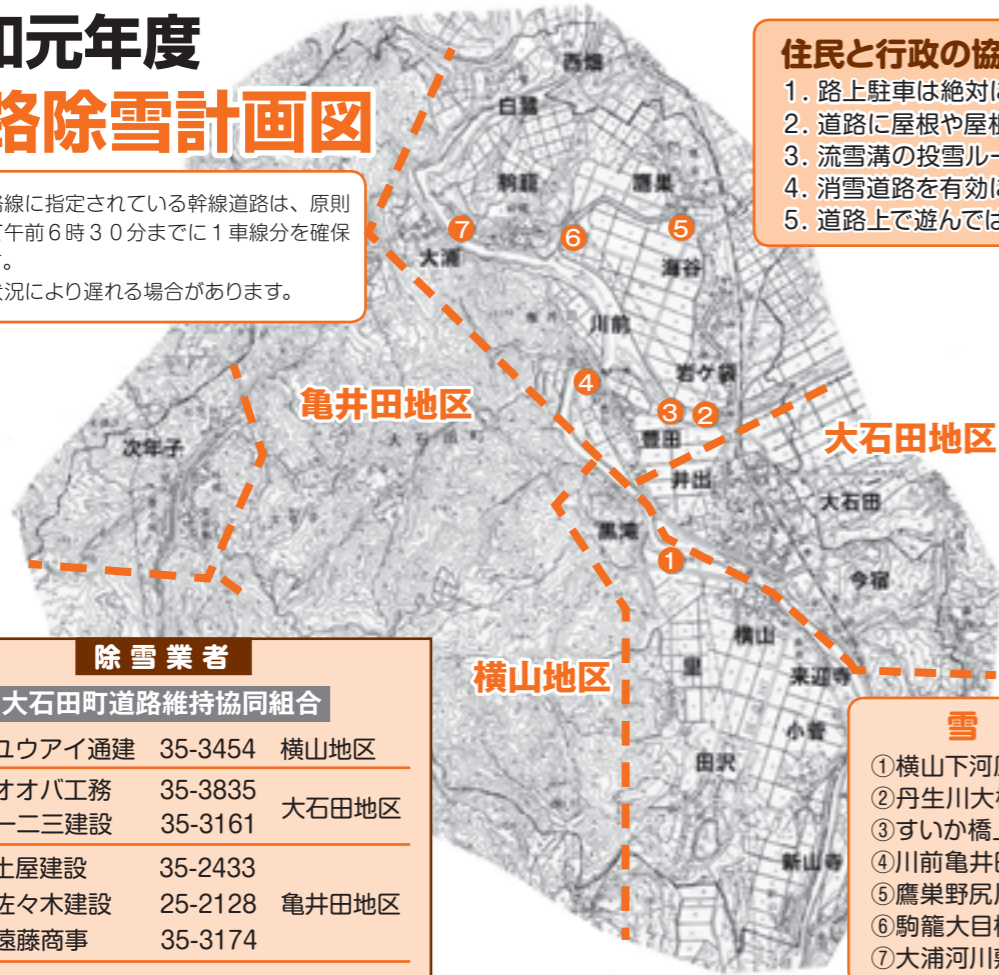
新そばまつり会場に、誕生以来名前がついていない「そばのキャラクター」のネーミング案への投票箱が設けられました。

ネーミング募集のきっかけは、昨年開催された東北芸術工科大学主催「みちのおくの芸術祭やまがたピエンナーレ2018」で行われた企画。名前がついていないキャラクターがいることを知った学生が「名づけ屋」という企画で集めた66の候補に、今回の新そばまつり来場者に投票してもらいました。気になる集計結果は…大石田町の里推進協議会総会を経て、来年度発表します。お楽しみに。



# 令和元年度 道路除雪計画図

◎除雪路線に指定されている幹線道路は、原則として午前6時30分までに1車線分を確保します。  
※降雪状況により遅れる場合があります。



## 住民と行政の協働による克雪を!

1. 路上駐車は絶対にしない。
2. 道路に屋根や屋根周りの雪を出さない。
3. 流雪溝の投雪ルールを守りましょう。
4. 消雪道路を有効に利用しましょう。
5. 道路上で遊んではいけません。

### 除雪業者

#### 大石田町道路維持協同組合

(有) ユウアイ通建	35-3454	横山地区
(有) オオバ工務	35-3835	大石田地区
(有) 一二三建設	35-3161	
(株) 土屋建設	35-2433	亀井田地区
(株) 佐々木建設	25-2128	
(有) 遠藤商事	35-3174	

### 雪捨て場

- ① 横山下河原河川敷
- ② 丹生川大橋下流河川敷
- ③ すいか橋上流河川敷
- ④ 川前亀井田橋上下流河川敷
- ⑤ 鷹巣野尻川橋下流河川敷
- ⑥ 駒籠大目橋下流河川敷
- ⑦ 大浦河川敷



冬の安全を  
みんなの力で

除雪作業にご協力を

## 1月と2月の第2日曜日は「雪みち愛護デー」

町では、冬を快適に過ごせるように、流雪溝の整備や道路の除雪などさまざまな事業を行っています。しかし、雪みちの安全を確保するためには、皆様のご協力が不可欠です。

そこで、1月と2月の第2日曜日を「雪みち愛護デー」として、各地区ごとの取り組みをお願いしています。

雪で見通しの悪くなった場所の排雪や流雪溝・消雪道路の状況点検、排雪マナーの確認など、町民みんなで力を合わせ安全で安心な雪みちの確保に努めましょう。

### 実施日

- 1月12日(日)
- 2月9日(日)

## 「流雪溝」の投雪ルールを守って 快適な冬の生活を送りましょう。

- 1 転落防止の中網は、絶対にはずさない。
- 2 機械での大量投雪はしない。
- 3 投雪時間を守る。
- 4 ゴミは捨てない。
- 5 使用後は、きちんと閉める。
- 6 投雪口の向きは正しく。(車道側が開閉)



■建設課 管理グループ TEL35-2111(内線232・233)

今年も、もつすべ冬本番。大石田町では避けて通れない雪の季節がやってきます。大石田町では、雪みちでの安全な道路交通を確保し、皆さんが安心して快適な冬を過ごせるよう、町と地域が一体となって克雪に取り組み「道路除雪事業実施計画」を策定しています。雪への対策は、行政の力だけでは乗り切ることができません。地域の皆さんの協力があるからこそ実現できるものです。みなで力を合わせ、冬でも快適に生活できるようにするため、除雪作業にご協力をお願いします。

### 令和元年度の除雪計画

今年度の除雪計画は、機械除雪86.8kmと消雪道路4.9kmをあわせて総延長91.7km。これは、町道総延長133.7km(歩道を含む)の68.6%にあたります。

幹線道路・生活道路そして国道・県道を含めて除雪を実施し、道路の安全確保に取り組みます。

### 降雪量10cmを目安に一斉出動

朝の出動時間帯に降雪量が10cmに達すると見込まれるときは、午前2時に町の除雪車が一斉出動します。通勤・通学に必要な幹線道路から順に除雪を行い、原則として午前6時30分までに1車線を確保します。ただし、大雪の場合などは除雪が遅れることもありま

すのでご了承ください。なお、歩道除雪作業も、降雪量10cmを目安に実施します。

### 凍結抑制剤を散布します

凍結によるスリップ防止対策として、凍結抑制剤を散布して融雪を促進します。

散布は、降雪がなく路面が凍結し、除雪車が出動しない場合に、比較的急な坂道や交差点、踏切付近などを中心に、町内21箇所を実施します。

### 雪を捨てる場合は決まった場所へ

町では、雪捨て場として町内7箇所を指定しています。雪を捨てる際は指定された場所をお願いします。雪と一緒にゴミなどを捨てると、不法投棄となり処罰される場合がありますので、ゴミは捨てないように注意してください。また、排雪作業の際は、周囲の安全をしっかりと確認し、事故のないように気をつけましょう。

### 流雪溝はルールを守って

流雪溝は、ルールを守っての使用をお願いします。水が流れる時間以外には雪を入れないようにしてください。また、投雪口は一人で雪を流す設計になっています。複数人で雪を一度に入れると雪が詰まり、地区全体に迷惑がかかります。みなさんが安心して使用できるようにご協力をお願いします。

# 日ごろ鍛えた心と技で

## 第48回大石田町民武道大会



武道愛好者が堂に会し技を競い合う第48回大石田町民武道大会が11月10日(日)に大石田中学校武道場で開催されました。大会では、柔道と剣道それぞれの形の演武や試合が行われ、日頃鍛えた心と技を競い合いました。

### 剣道競技

#### ★基本審査の部

- 第1位 寺崎ひなた(大小5年)
- 第2位 齋藤 美月(大小2年)
- 第3位 寺崎 絆希(大小2年)
- 第3位 寺崎 結恵(大小2年)

#### ★小学生4年生以下の部

- 第1位 海藤 優空(大北小4年)
- 第2位 伊藤 優里(大北小3年)
- 第3位 村岡 理緒(大北小4年)

#### ★小学生高学年の部

- 第1位 佐藤 悠喜(大北小6年)
- 第2位 伊藤 悠真(大北小6年)
- 第3位 海藤 辰徳(大北小6年)
- 第3位 井上 由仁(大南小6年)

#### ★中学生の部

- 第1位 海藤 大輝(大中2年)
- 第2位 佐藤 蓮(大中1年)
- 第3位 石山 陽愛(大中1年)

#### ★高校・一般女子の部

- 第1位 佐々木愛華(土崎養護学校1年)
- 第2位 佐々木和代(町剣道連盟)

- ★高校・一般男子の部
- 第1位 寺崎 尚慶(町剣道連盟)
- 第2位 菅原 武清(新庄北高1年)
- 第3位 森 勇人(町剣道連盟)
- 第3位 寺崎 祐俊(新庄北高1年)
- ★錬成杯紅白試合
- 第1位 白組
- 第2位 紅組



### 柔道競技

#### ★小学2年生以下の部(稽古披露)

- 金田 朗輝(ふたば保育園)
- 寺崎 伊織(ふたば横山保育園)
- 三瀧 心道(ふたば横山保育園)
- 飯藤 隼也(ふたば横山保育園)
- 齊藤 結菜(ふたば横山保育園)
- 三瀧 道人(大南小1年)
- 高橋 愛桜(大小1年)

#### ★小学3年生以上男子の部

- 第1位 高橋 琉夢(大小3年)
- 第2位 早坂 大地(大北小5年)
- 第3位 金田 陽樹(大小3年)
- 第4位 高橋 颯人(大石田柔道スポ少・福原小3年)

## 第54回 大石田町芸術祭

〜令和に輝く 大石田〜

### 芸術祭式典・歌と踊りの合同公演

大石田町芸術祭が10月30日(水)から11月12日(火)の期間に開催され、大石田町芸術文化協会に加盟する団体などが作品や歌・演奏・踊りを披露しました。芸術祭期間中、会場の虹のプラザでは書道展や絵画展などが行われ、11月4日(月)には多目的ホールで式典と「歌と踊りの合同公演」が開催されました。式典では芸術文化栄光章に輝いた団体と個人の表彰が行われ、合同公演では町芸術文化協会に加盟する団体による歌や踊りが次々と披露されました。会場2階の和室には北村山高校茶華道部による抹茶席も用意され、多くの町民が訪れて芸術を味わいました。



### 菅野愛奈さん(大中1年)の作品が第61回こども県展「県展賞」を受賞

菅野愛奈さん(大石田中1年)の作品「部活の時間」が、第61回こども絵画展(こども県展)の県展賞に選ばれました。「部活への思いが上手に表現されている」と高く評価されたものです。菅野さんの作品は、10月に虹のプラザで開かれた「県美展・こども県展大石田巡回展」で展示されました。



菅野愛奈さん「部活の時間」

- ★小学生女子の部
- 第1位 早坂 芽衣(大北小3年)
- 第2位 有路 千紗(大小3年)
- ★中学1年生男子の部
- 第1位 菊地 蓮太(大中1年)
- 第2位 延藤 昂生(大中1年)
- ★中学2年生男子の部
- 第1位 齋藤 琉生(大中2年)
- 第2位 玉ノ原昊軌(大中2年)
- ★中学生以上女子の部
- 第1位 村岡 美咲(町柔道連盟)
- 第2位 伊藤 桜子(新庄北高1年)
- ★高校・一般初段以下の部
- 第1位 伊藤 恭哉(町柔道連盟)
- 第2位 島津 諒大(大中3年)
- 第3位 村形 歩(大中3年)
- 第3位 横山 歩希(大中3年)
- ★高校・一般初段以上の部
- 第1位 星川 航大(町柔道連盟)
- 第2位 星川拳太郎(町柔道連盟)
- 第3位 長瀬 将(町柔道連盟)
- 第3位 大石 光(町柔道連盟)



## 年金相談所を開設

年金に関するさまざまな疑問や質問に新庄年金事務所の職員がお答えします。また、手続きもできます。

- ◆日時 毎月第2木曜日  
午前10時～午後3時  
※正午～午後1時を除く
- ◆場所 役場1階 101会議室
- ◆持ち物 年金手帳(証書)、印鑑、預金通帳など

※年金相談は、電話予約制となっております。

予約先「新庄年金事務所」  
Tel0233-22-2050

【これからの開設予定日】  
12月12日(木)・1月9日(木)  
2月13日(木)・3月12日(木)

## ご存知ですか? 障害年金

障害のある方が次の3つの要件をすべて満たしている場合は、国民年金・厚生年金の障害年金を受けることができます。

- ① 年金制度加入中に初診日があること  
※20歳前または60歳から65歳までの間に初診日がある場合も対象になります。
- ② 一定の障害の状態にあること
- ③ 一定の保険料を納付していること

障害年金を受けるには、本人または家族による年金請求手続きが必要です。まずは役場町民税務課または新庄年金事務所にご相談ください。

## 国民年金保険料免除について

保険料の一部免除を受けている方は、残りの免除されていない保険料を納めないと「未納」という扱いになってしまいます。保険料が納め忘れの状態でも、障害や死亡といった不慮の事態が発生すると障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられない場合があります。免除等の承認を受けた期間の保険料は過去10年に遡って納めることができます。また免除については2年1か月前まで遡って申請することができます。未納期間のある方や納付書をなくされた方は、役場町民税務課または年金事務所にご相談ください。

## 社会保険料(国民年金保険料)控除証明書をお送りします。

納めていただいた国民年金保険料は「社会保険料控除」として、全額が所得控除の対象となります。年末調整や確定申告の際には、この控除証明書が必要ですので申告の時期まで大切に保管してください。

平成31年1月1日から令和元年10月1日までの間に国民年金保険料を納めた方 → 11月上旬に送付されます

令和元年10月2日から12月31日までに今年初めて国民年金保険料を納めた方 → 翌年2月上旬に送付されます

※ご家族の国民年金保険料を納付された場合、ご本人の社会保険料控除に加えることができますので、ご家族あてに送られた控除証明書を添付のうえ、申告してください。

詳しくは下記までお問い合わせください。

【ねんきん加入者ダイヤル】Tel0570-003-004 (ナビダイヤル)

年金に関するお問い合わせは

■新庄年金事務所

Tel0233-22-2050

■役場町民税務課 住民グループ

Tel35-2111(内線123)

## 11月30日は「年金の日」

### 未来の生活設計について考えてみませんか

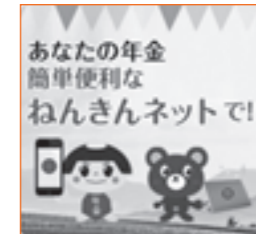
11月30日は「年金の日」です。この機会に「ねんきん定期便」や「ねんきんネット」で年金記録と受給見込額を確認し、未来の生活設計について考えてみませんか。「ねんきんネット」ではいつでも自身の年金記録を確認できるほか、記録を基に様々な受給パターンを試算することができます。

年金記録の確認は簡単・便利な「ねんきんネット」をご利用ください。

「ねんきんネット」はパソコンやスマートフォンから自身の年金情報を確認できるサービスです。

「ねんきんネット」でできること

- ① 年金記録の確認
- ② 将来の年金見込額の試算
- ③ 電子版「ねんきん定期便」の閲覧
- ④ 日本年金機構から郵送される各種通知書の確認や再交付 など

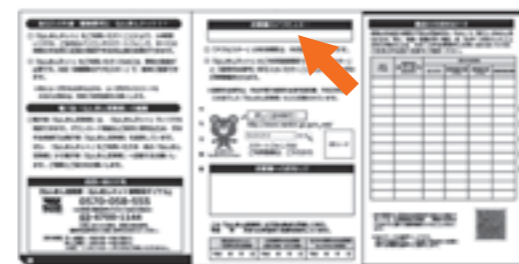


「ねんきんネット」利用登録からサービス利用までの流れ

### その1

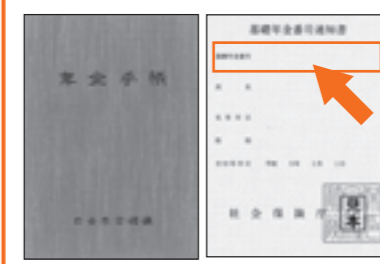
・アクセスキー(※1) ・基礎年金番号(※2) ・氏名  
・生年月日 ・性別 ・郵便番号 ・住所 ・メールアドレス 等

※1アクセスキー(ねんきん定期便に記載)



ねんきん定期便などに記載されている17桁の番号です。この番号を使用して申し込むとユーザIDをすぐに取得できます。

※2基礎年金番号(年金手帳に記載)



年金手帳などに記載されている10桁の番号です。

### その2

アクセスキーをお持ちの場合  
⇒ユーザIDが発行されます

アクセスキーをお持ちでない場合  
⇒日本年金機構で本人確認を行い、ユーザIDをハガキでお届けします。

### その3

ユーザIDとパスワードを使用して「ねんきんネット」にログインしてください。

「ねんきんネット」に関するお問い合わせは…

ねんきんネット

検索

くらしを支える国民年金

11月は年金月間です

11月30日は年金の日

国民年金は、働く世代が高齢者世代を支える世代間の助け合いの仕組みです。また、老後だけではなく、障害を持ってしまったときや一家の働き手をなくされたといった、もしもの時に支えてくれる制度です。

# ニュース 玉手箱



## キッズタウンでお仕事体験



**キ** ャッズタウン大石田が10月20日（日）にクロスカルチャープラザで開催されました。これはキッズタウン大石田実行委員会（高橋堅代表）が主催して毎年行われているもので、子どもたちが会場に設けられた実際のお店のブースで仕事を体験し、そこで得たポイントをイベント用通貨に交換して買い物を楽しみました。会場には銀行や接骨院など町内のさまざまな業種の事業所のほか、大石田中学校生徒会や高校生ボランティアサークル二十四孝PARTⅡのブースが出展され、子どもたちは菓子店のブースでスイートポテトを作ったり、銀行ブースでお札を数えたりと、楽しみながらはたらくことについて学んでいました。

## めでたく結婚50年金婚祝う

**金** 婚祝賀記念式典が10月25日（金）にJAみちのく村山大石田営農センターで行われ、昭和44年に結婚された20組のご夫婦の結婚50年を祝いました。式典では参加したご夫婦に町社会福祉協議会から記念品が贈呈されたほか、玉虫秀明・山形新聞尾花沢支社長から「おしどり金婚さん」顕彰レリーフが手渡されました。工藤光男さん・とし子さん（海谷）ご夫妻が「半世紀、元気で過ごせたのはまわりの方の心遣いと温かいご指導のおかげ」とお礼の言葉を述べました。その後、祝宴が行われ、参加したご夫婦は共に過ごした半世紀を振り返りお互いをたたえあっていました。



## 目線の高さからまちづくり考える

**目** 線の高さから地域の賑わいづくりを考える講演会「1階づくりはまちづくり」が11月7日（木）にKOE no KURAで開催されました。これは地域おこし協力隊の遠藤舞子さんが企画したもので、町内外から30人が参加しました。講師の田中元子さんは、賑わいづくりのための遊休地や空きテナント等の有効活用を提案している“建築コミュニケーター”。人の目線の高さ（建物の1階部分や街なか）に人が集うことが地域の賑わいを生み活性化につながるとして、自身の経験を交えながら各人が興味のあることや得技、趣味を持ち寄れる公共的な空間づくりを提案しました。講演の後は、軽食をとりながら参加者同士の交流会が行われました。



## 北小児童が発掘現場を見学

**全** 国的に珍しい古代の水駅の可能性がある駒籠地区の駒籠橋跡発掘現場を大石田北小学校6年生が10月23日（水）に訪れ、歴史民俗資料館の学芸員から調査のねらいや今年新たに発見されたことなどの説明を受けました。駒籠橋跡は、平安時代に編纂された「延喜式」に記された舟が配備された古代の駅「野後駅」の可能性のある遺跡で、平成19年から調査が継続して行われていて、今回の調査では大きな建物の遺構などが新たに発見されています。子どもたちは、発掘で使う見慣れない道具に興味津々で、説明にあたった学芸員に使い方や発掘の進め方などを次々に質問していました。



## 火災のない冬に 防火キャラバン出発式

**消** 防団員らが火の用心を呼びかける秋の火災予防運動が11月9日から15日までの一週間に開催されました。運動期間に先立って8日（金）には役場正面玄関で、三浦清孝団長はじめ団員40人が参加して防火キャラバン出発式が行われました。三浦団長は「各家庭で暖房器具を使い始める季節になった。火災ゼロを目指してしっかり防火の啓発を行いたい。」と決意を述べました。団員らはその後各班の車両に乗り込み、地区で防火標語のピラを配って火の用心を呼びかけていました。



## ノルディックウォーキングで秋を満喫

**大** 石田スポーツクラブの土日イベント「ノルディックウォーキング教室」が11月2日（土）に行われ、紅葉美しい秋の大石田を町内外からの参加者15人が歩いて楽しみました。ノルディックウォーキングは2本のストックを使って行うウォーキングで、大石田スポーツクラブでは定期教室のほかに、会員以外の方も参加できる土日イベントを定期的で開催しています。今回のイベントでは、あつたまりランド深堀をスタートして紅葉鮮やかな最上川沿いなどを歩きました。参加者はウォーキングを楽しんだあと、あつたまりランド深堀で新そばを味わい秋の大石田を満喫しました。





みんなでモツシエ 虹のプラザ

# おいしだ

## 盛り上げ コンサート 2020

# 1.11<sup>土</sup>

開場 午後2:30 開演 午後3:00  
大石田町町民交流センター  
虹のプラザ「多目的ホール」

前売チケット 全席自由 **チケット発売日/12月2日(月)午前8:30から**

2,000円(一般) 1,000円(高校生以下)  
当日チケット 2,500円(一般) 1,500円(高校生以下)

チケット販売所 大石田町町民交流センター「虹のプラザ」事務室  
販売時間:午前8:30~午後7:00、木・日・祝/午前8:30~午後5:15  
※電話予約も可能です。  
(予約後10日以内にお支払いとチケット引換をお願いします)

●前売チケットが完売した場合、当日チケットの販売はありません  
●車いす席が必要な方は、大石田町町民交流センターまでお問い合わせください

大石田町町民交流センター 虹のプラザ



ゲスト:朝倉さや



ゲスト:工藤あやの



ゲスト:佐藤善人



白崎映美



小柴大造



若草 恵

主催:大石田町  
制作:一般社団法人モツシエやまがた

お問い合わせ  
大石田町町民交流センター 虹のプラザ 0237-35-2094

# まちとしよ

~大石田町立図書館 infomation~

きてけらっしやい



☎ 35-3877 大石田町町民交流センター「虹のプラザ」内  
公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library/>

- 開館時間 午前9時~午後7時(日曜日・祝日は午前9時~午後5時)
- 休館日 毎週木曜日・特別整理期間ほか 《12月の休館日》5日(木)・12日(木)・19日(木)・26日(木)・28日(土)~31日(火)

## 行事・展示のおしらせ

日時・場所	内 容
12月7日(土) 10:00~11:00 おはなしコーナー	<b>毎月のおはなし会</b> 毎月第一土曜の30分は図書館でおはなしを楽しみませんか?お子さんも親御さんも気軽にどうぞ!
12月15日(日) 10:00~11:15 おはなしコーナー ほか	<b>冬のスペシャルおはなし会</b> 読書サークルハリーさんによるクリスマスのスペシャルおはなし会です☆ ○おはなし 『ゆき』(はたこうしろう作) 『ゆき』(ユリ・シュリヴィッツ作) 『おぼけのゆきだるま』 『サンタクロースってほんとにいるの?』 紙芝居『みつごのこぶたのクリスマス』 『ケーキができたわけ』 ○ミニ工作 小さなケーキのデコレーション お友達やお家の方と一緒にぜひおいでください!
12月17日(火) 10:00~ 虹のプラザ 2階小会議室 1	<b>読書会『万葉集』を読む</b> 日本最古の和歌集『万葉集』。皆さんで楽しく読んでみませんか?今回のテーマは「酒」です。 ○お電話にて前日までお申込みください。 ○指定テキスト『よみたい万葉集』(村田 右富実監修、西日本出版社刊)を各自ご用意ください。 ○申込み先:大石田町立図書館(電話 35-3877)
12月の展示	『クリスマスの展示』・『ウィンタースポーツ特集』 『税金関連展示』ほか

### 特別整理期間の休館日

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29	30
9:00~17:00	9:00~19:00			休館		
12/1	2	3	4	5	6	7
休館						9:00~19:00

### 図書館Q&A

〈Q. 図書館で飲み物を飲んでも大丈夫ですか?〉

A. 水筒やペットボトルなど、ふた付きで飲み口が密閉できる容器に入った飲料を、机がある場所で飲むことができます。美味しいコーヒーやお茶をマイ水筒に入れて、読書や勉強の合間にほっと一息つくのもいいですね。



## あったか冬支度

— 冬が近づいてきました。今回は寒い冬をあったかく快適に過ごすヒントが盛り沢山です! —



誠文堂新光社編 / 誠文堂新光社刊  
『世界のホットドリンクレシピ』



ワタナベ マキ著 / 宝島社刊  
『食材3つで簡単ごちそう小鍋』



プティック社刊  
『みんなの脳活性編み物 全70点』



かじり みな子作 / 偕成社刊  
『ゆきがふるまえに』

※すべて町立図書館蔵書

## 町税口座振替 キャンペーン抽選会



町税口座振替キャンペーンの抽選会が10月10日(木)に行われました。キャンペーンは4月から9月まで行われ、期間中に口座振替を申し込んだ対象者82人に燃やせるごみ袋、さらに抽選で10人の方にガラス工芸品が贈られました。

町では便利で納め忘れのない口座振替を推進しています。  
■町民税務課 税務グループ  
Tel.35-2111 (内線126)

## 交通安全対策に カーブミラー贈呈



みちのく村山農業協同組合(折原敬一代表理事組合長)が10月24日(木)に役場を訪れ、カーブミラー2基を町に寄贈しました。交通事故対策の一環として毎年実施しているもので、これまでに230基を寄贈いただいています。大変ありがとうございました。

## 大石田町消防団 緊急車両走行講習会



町の消防団員を対象にした緊急車両の走行講習会が11月10日(日)に村山市のマツキドライブスクールさくらんぼ校の練習コースで行われました。

これは消防団の車両が火災発生時にサイレンと赤色灯をつけて公道を走ることから、団員が安全で確実な運転ができるようにと尾花沢警察署の協力により開催されたもので、団員らは実際に車両に乗り込み、パトカーでの実演に倣って交差点への進入方法などを確認していました。



地域おこし協力隊コラム

## 大石田町エトペソラ

今年4月より地域おこし協力隊に着任し、わずか1か月で産休へ…。6月に第二子を出産し、10月から仕事復帰しています。改めまして大野あかねです！町に住んで早7か月。様々なイベントに参加したり、娘たちの保育園での夏祭りや生活発表会など、充実した毎日を送っています。

出身は山形市ですが、同じ山形でも方言や自然の多さ、食文化や気候の違いなど、日々驚かされています。神奈川県川崎市在住時は、もちろん移動は徒歩、電車でしたので子供を連れていくとなかなか大変です。満員電車に乗ったり、少し窮屈なこともありましたが、今はのびのびと子育てができ、暮らしやすいなあと実感しています。

そして今は、協力隊として、二児の母として自分に何が出来るかを常に考えています。まずはSNSの発信として大石田町の魅力やイベントの事、子育て中の出来事などを日々更新しています。SNSを通じて大石田町を知らない方、知っているけど来たことがない方など県外の方に大石田町の魅力を知ってもらい、移住希望者や協力隊に興味を持った方などの背中を後押し出来ればいいなと考えています。

暮らしやすくのびのびと子育てができる環境をどんどんPRしていきますのでこれからもどうぞよろしくお願ひ致します！（あかね）



SNSで大石田町のエトペソラを発信中！！／ブログ・Facebook「大石田町エトペソラ」／Instagram「oishida\_et\_pesora」

## 12月の主な行事予定

日	行事予定
2月	母子健康手帳交付／午後1時30分／役場相談室
11月(水)	心配ごと相談／午後1時30分～午後4時／社会福祉協議会 行政相談／午後1時30分～午後3時30分 虹のプラザ小会議室
12月(木)	年金相談／午前10時～午後3時／役場101会議室 ※新庄年金事務所への事前予約が必要です。 Tel.0233-22-2050
16月	母子健康手帳交付／午後1時30分／役場相談室
25月(水)	農業委員会総会／午前10時／大会議室
27月(金)	仕事納め (12月28日～1月5日は役場閉庁となります。)

※都合により日程が変わる場合もありますので、事前にお問い合わせください。

## 死亡事故ゼロ1399日目

(11月15日現在)

### 大石田町の事故発生状況

(平成31年1月1日～令和元年11月15日)



- 発生件数 12件 (+2件)
  - 負傷者数 13人 (±0人)
  - 死亡者数 0人 (±0人)
- ※( )は前年比

飲酒運転撲滅・冬道の交通事故防止  
強化旬間：12月11日(水)～12月20日(金)  
冬道あせらず安全運転

毎月1日は「大石田町交通安全行動の日」

## 日曜・休日急患の当番医

12月 診療時間：午前8時30分～午後5時

日	当番医院名	電話
1日(日)	吾妻クリニック	(35)2021
8日(日)	おくやま内科医院	(24)0980
15日(日)	加藤クリニック	(22)9877
22日(日)	伊藤クリニック	(23)3350
29日(日)	尾花沢市中央診療所	(23)2010
31日(火)	さかえクリニック	(53)8181

家族の健康管理に気をつけて

## 短歌

# あなたの ニギハヤク

台風が去っていった日曜日うるこや菓子店は客で賑わう  
敗戦のわれ等を励ます茂吉おり数多の町民熱弁に酔ふ  
眼科医に「涙走走」と事問へば老化現象と目薬渡す  
子等へ文書くを忘れて読みにけり借り来し茂吉の「万葉秀歌」を  
無住かと問はれて肯と言ひ切れず何かの気配常ある空き屋  
濃い赤の楓ばかりに囲まれて幼き日々を思い出す朝  
外と国ゆ帰りに仰ぐ星空の澄みすみてすがしニースよりなほ  
披露宴に「夫婦春秋」歌いたる友は昨年逝きてしまへり  
建仁寺「拈華微笑」の揮毫あり釈迦説きし禅の真髓おもふ  
淀みなく「どんとむがす」を語り終へ新会員はデビュを飾る

海 伊 杜 富 小 小 熊 鈴 八 鈴  
藤 藤 榎 玉 関 谷 木 鋏 木  
忠 哲 匠 榮 春 祐 ヨ 多 キ 智  
男 夫 一 太郎 歌 子 子 喜 喜 恵 美

## 俳句

袴著に孫男前頼もしく  
令和初コーラス響く文化の日  
鈴虫の鈴を枕に眠りけり  
茶の席に海を眺める石路の花  
空稲架や今は豆木に肩かして  
風に散る銀杏黄葉の眩しけり  
夕暮時煙たなびく刈田かな  
柿さはす度数を頼むアルコール

星 土 齊 木 柏 五 青 青  
川 屋 藤 村 倉 十 嵐 木 木  
紀 忠 静 満 ヤ 隆 ミ 宙  
一 子 子 喜 ス 司 薩 女 翁

# 別冊 おおいだものがたり

## ～資料館資料編～

### ■田能村直入筆『群鳥図』

『日本遺産「山寺と紅花」追加認定記念企画展大石田に遺る近世絵画』展より

ただ今資料館で開催中の『日本遺産「山寺と紅花」追加認定記念企画展 大石田に遺る近世絵画』展から、今回は田能村直入筆『群鳥図』をご紹介します。

田能村直入（文化11・1814～明治40・1907）は、田能村竹田にその才能を見出され、養嗣子として田能村姓を継いだ文人画家です。明治初年には、京都府画学校（現京都市立芸術大学）設立に関わり、開校にあたっては摂理（校長）となったほか、富岡鉄斎らと日本南画協会を設立し、南画振興に尽力しました。

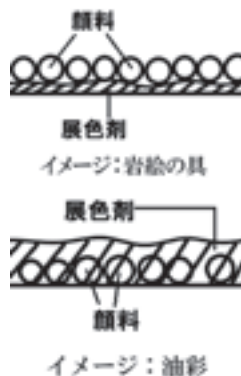
南画あるいは文人画というと、水墨を基調とした山水画が中心ですが、中には極彩色の花鳥画なども含まれます。今回取り上げる『群鳥図』もこの系統の作品で、鮮烈な色合いに驚かされますが、この発色の良さは日本の伝統的な画材である岩絵の具の特性に由来しています。

水彩や油彩、アクリルなど、絵の具には様々な種類がありますが、その主成分は顔料と展色剤です。顔料とは岩石などの鉱物を砕いた色の基となる粉末ですが、顔料には接着力がなくて、支持体（紙やキャンバスなど）に色を乗せても定着しません。そこで必要になるのが、顔料どうしや顔料と支持体を接着させる展色剤です。この展色剤の違いが絵の具の種類の違いで、水彩絵の具にはアラビアゴム、油彩絵の具には乾性油が使われており、岩絵の具は、膠で溶くことで接着力を持たせます。水彩や油彩絵の具の展色剤が顔料の粒子全体を覆うのに対し、膠は点と点で接着させる（イメージ図参照）ため、顔料が持つ本来の色が表れることとなります。点のみで接着していることで脆弱であるという難点があるものの、良い顔料を用いて大切にされてきたものは経ても鮮やかな色を失いません。

また、顔料としての岩絵の具には、粒の大きさによって色の濃淡が異なるという特徴もあります。細かい粒子ほど乱反射が多く白っぽい色になるので、同一鉱物由来の顔料でも、粒の大きさで色が細分化されています。そのため顔料の大きさが均一な水彩や油彩で描かれた作品に対し、岩絵の具による作品は同じ支持体上に大小さまざまな粒子の顔料が用いられることとなります。これにより見る角度や遠近でそれぞれの顔料の反射が異なる変化をし、実際に使用された色数以上の色を感じさせるのです。

あらためて、『群鳥図』を見てみます。画面下方の水の中にはオシドリやマガモ、鶺鴒の他、岸边にはサギやウズラ、さらにキジやガチョウの姿も見えます。画面左側に立つ木の枝の上や空中には、雀に鶯の小禽たちやフクロウといったおなじみの鳥だけでなく、カラフルな各種のインコやオウムなど、舶来の鳥たちが所狭しと遊んでいます。その一つ一つが博物画といって良いほど精緻で、いきいきとした表現からは、今にも鳥たちの鳴き声が聞こえてきそうなほどです。華やかな色彩表現を支える上記の岩絵の具による特性は、写真になると均一な平面になってしまうため、実物を見ることでしか味わえないものです。ぜひ資料館で豊かな色合いをお楽しみください。

『日本遺産「山寺と紅花」追加認定記念企画展 大石田に遺る近世絵画』展は 12月8日（日）まで



町の人口 令和元年 11月1日現在		
世帯数	2,340 戸	(-10)
総人口	6,959 人	(-26)
男	3,420 人	(-9)
女	3,539 人	(-17)
(10月中の異動)		
出生	3 人	転入 5 人
死亡	15 人	転出 19 人

※この数字は外国人数も含めた数字です。

### 楽がき帳

すっかり寒くなりました。いつの間にか葉山が真っ白になっています。もうそろそろ大石田町にも雪が降りますね、もしかしたらこの広報紙が出るころは初雪が降ったあともかもしれません。気になる今年の雪の量ですが、9月下旬に気象庁が出した長期予報によると、この冬は全国的に平年並みか平年より気温が高く、日本海側の雪も平年並みか平年より少ないとのこと。穏やかな冬だといえますね。

さて、令和元年も残すところ1か月あまり、一年を振り返る季節になりました。今年には胃腸が大荒れの一年でした。3月に急性胃腸炎にかかり一週間ともに食べられなくなる、8月に夏バテで食欲をなくし体重が5キロ近く落ちる、10月に胃カメラを飲みピロリ菌に感染していることが判明。今はすっかり良くなりましたが、忘年会シーズンは食べ過ぎ飲み過ぎに注意したいと思います。(あ)